

# 第6回 クリニカルバイオバンク学会 シンポジウム

会期 > 2021.5.29[土]-30[日]

開催方式 > オンライン開催

大会長 > 西原 広史 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター  
ゲノム医療ユニット



## プログラム集



第6回

# クリニカル バイオバンク学会 シンポジウム

プログラム

会 期 2021年5月29(土)～5月30日(日)

開催方法 オンライン開催

大会長 西原 広史

慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノムユニット



# 大会長 挨拶

この度、学会理事会にて、第6回クリニカルバイオバンク学会シンポジウムは完全オンラインにて2021年5月29日、30日に延期開催することが確定致しました。早速、オンライン開催での利点を最大限に活用した新たなプログラムの作成に向けて鋭意、準備を進めているところでございます。

昨今のゲノム医学の飛躍的な発展により、研究的なニーズに加えて臨床現場で最先端の解析機器を用いた遺伝子解析を行い、診断・治療に必要なデータを抽出するクリニカルシーケンスの確立が急務の課題となっています。そのためには、「診療情報と直結した生体試料の確保」と、「生体試料の合目的な高い品質管理」が必要であり、「迅速かつ少数検体の解析を行い、診療へフィードバックする」ことが求められます。当学会では、バイオバンク及びクリニカルシーケンスに関するシステムや技術についての最新の情報交換の場を提供することを目的として2015年に第1回シンポジウムを開催、昨年開催の第5回シンポジウム（福岡）では250名を超える参加者が集い、協賛・展示企業も40社を超え、年々この分野への注目と参加者の熱意が高まっていることが感じられます。

2021年の第6回シンポジウムでは、「ゲノム医療の展開における診療施設併設型バイオバンクの果たすべき役割」をテーマとして、問題点の整理と解決策を見出すことを目指します。

学会シーズンでもあり、大変お忙しい時期かと思いますが、万障お繰り合わせの上、多くの皆さんに2日間ご参加頂き、様々なお立場の方からご意見を拝聴できる機会になれば、と願っております。

2021年5月



第6回クリニカルバイオバンク学会シンポジウム

大会長 西原 広史

(慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノムユニット 教授)

## 参加者へのご案内

※随時更新情報をホームページに掲載いたしますので、ホームページをご覧ください。

### 1. 参加方法

本シンポジウムホームページのリンクから視聴ページにログインしてください。ログインには、ID とパスワードが必要になりますが、事前参加登録をされた方にはメールで ID、PW をお知らせいたします。

### 2. 視聴方法

視聴には、Zoom の meeting 機能を使用いたしますので、Zoom に参加される際には姓名をご入力ください。座長から特別な許可がない限り、ご自身のマイクおよびカメラはオフにしてください。講演者への質問・コメントは、チャット機能を使用してください。

### 3. オンデマンド配信

企業による共催オンデマンドセミナーは、6月7日(月)まで視聴可能です。また、シンポジウムの全セッションの録画をホームページで公開いたします。公開日は未定ですが、会期後2週間程度で配信する予定です(2日間限)。詳細については、後日ホームページで案内いたします。

### 4. 参加証及び領収証

オンライン開催のため参加証は送付いたしません。また、参加費の領収証が必要な場合は運営事務局(cbs2020@aeplan.co.jp)あてにご依頼ください。

### 5. 抄録

本シンポジウムでは、印刷物としての抄録は発行いたしません。PDF をホームページで公開させていただきます。

### 6. 禁止事項

PC画面のカメラ、ビデオ、携帯電話などによる撮影や講演音声の録音を禁止します。また、PCのスクリーンショット保存も厳禁とします。

### 7. 問い合わせ先

第6回クリニカルバイオバンク学会シンポジウム(運営事務局)  
株式会社 エー・イー企画内  
〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6F  
TEL: 06-6350-7163  
FAX: 06-6350-7164  
E-mail: cbs2020@aeplan.co.jp

# 日程表

5月29日(土)	
8:30	8:55 - 9:00 開会の挨拶 大会長：西原 広史
9:00	9:00 - 10:20 セッション 1 がんゲノム医療の光と影 座長：池田 貞勝 演者：向井 洋介、角南 久仁子、武藤 学、柴田 浩行
10:00	10:30 - 11:50 セッション 2 検体品質管理とがんゲノム検査 SOP 座長：柿島 裕樹 演者：井上 博文、赤羽 俊章、柳田 絵美衣、藤澤 真一
11:00	12:00 - 12:30 企業共催 Live セミナー 演者：小林 佑介 / 共催：武田薬品工業 (株)
12:00	12:40 - 14:30 セッション 3 バイオバンク検体 / データ活用に向けて 1 標準化と臨床検査 / バイオバンクのクロストーク 日本生物資源産業利用協議会 CIBER 協賛 座長：服部 功太郎 演者：中江 裕樹、西原 広史、池田 純子、吉田 雅幸
13:00	14:40 - 16:00 セッション 4 バイオバンク検体 / データ活用に向けて 2 本当に利用したくなるバイオバンクを目指して 日本生物資源産業利用協議会 CIBER 協賛 座長：森田 瑞樹 演者：森崎 隆幸、森田 瑞樹、安達 秀樹
14:00	16:10 - 17:10 セッション 5 院内検査として行うがんゲノム検査の可能性 座長：西原 広史 演者：四十物 絵理子、赤木 究、谷本 昭英
15:00	17:20 - 18:40 セッション 6 全ゲノム解析時代の precision oncology と遺伝情報の取扱い 座長：豊岡 伸一、平沢 晃 演者：吉田 輝彦、丸 祐一、横野 恵、井本 逸勢
16:00	
17:00	
18:00	
19:00	

5月30日(日)	
8:30	8:30 - 8:35 事務連絡
9:00	8:35 - 9:55 セッション 7 RWD が作り出す次世代 EBМ : 医療ビッグデータの活用 座長：武藤 学、泉田 欣彦 演者：松本 繁巳、泉田 欣彦、田倉 智之
10:00	10:05 - 10:55 特別講演 演者：Prof. Peter Paul Yu
11:00	11:05 - 12:35 セッション 8 感染症検体の取り扱いについての国内外の動向 座長：松下一之 演者：古田 耕、谷田部 恭、石井 良和、鶴山 竜昭、松下一之
12:00	

企業共催オンデマンドセミナー	
1.	がんゲノム検査における PleSSision プラットフォームの有用性 西原 広史 慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット 共催：三菱スペースソフトウェア (株)
2.	The CellSeal Platform: Closed system cryopreservation and storage of high value biological specimens Sean Werner Sexton Biotechnologies 共催：(株) 池田理化
3.	高品質なシングルセルレベルのレーザーキャプチャーを実現 一より確かな空間解析へ 池田 理恵子 フリュウタイム株式会社 共催：フリュウタイム (株)
4.	非レーザー式マイクロダイセクションシステムを用いた DNA 抽出は、がんゲノム医療の診断精度を向上させる 四十物 絵理子、高松 玲佳、中村 康平、西原 広史 慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット 共催：(株) モルフォテクノロジー
5.	隣癌患者における生体試料を用いた ctDNA 遺伝子解析の取り組み ～ 診療施設併設型バイオバンク利用の現状と実際 ~ 吉田 龍一、安井 和也、宮本 耕吉、八木 孝仁、藤原 俊義 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学講座 共催：日本ベクトン・ディキンソン (株)
6.	ニーズの「共創」～ユーザーに寄り添う新しいバイオバンクモデル 松岡 広 <sup>1</sup> 、辻本 研二 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 バイオリソース研究・開発推進学分野 <sup>2</sup> 一般社団法人 BioResource Innovation Hub in Kobe 共催：BioResource Innovation Hub in Kobe
7.	多施設共同研究における検体管理； PAXgene Tissue System の有用性 中村 康平 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット 共催：(株) キアゲン
8.	全ゲノム解析の医療応用に向けたバーチャルパネルへの取り組み 高野 良治、窪川 美雪、山澤 悟、山口 昌雄 アメリカエフ株式会社 共催：アメリカエフ株式会社

## 5月29日（土）

8:55 - 9:00

開会の挨拶

大会長 西原 広史（慶應義塾大学医学部腫瘍センター）

9:00 - 10:20

セッション1 **がんゲノム医療の光と影**

座長 池田 貞勝（東京医科歯科大学）

- 1-1 行政経験から見た本邦におけるがんゲノム医療提供体制の構築について  
向井 洋介  
大阪国際がんセンター 外科
- 1-2 がんゲノム医療の実状と課題解決に向けた取り組み  
角南 久仁子  
国立がん研究センター中央病院 臨床検査科
- 1-3 わが国におけるがんゲノム医療を考える  
武藤 学  
京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座
- 1-4 「がんゲノム3年」、秋田県における がんゲノム診療の実情、  
見えてきた問題点と解決策  
柴田 浩行  
秋田大学がんゲノム診療センター  
秋田大学腫瘍内科

ディスカッション

## セッション2 検体品質管理とがんゲノム検査 SOP

座長 柿島 裕樹 (国立がん研究センター中央病院 臨床検査科 遺伝子検査室)

### 2-1 次世代 FFPE ブロックにするために ～検体処理から出検までの検体品質管理～

井上 博文

岡山大学病院 ゲノム医療総合検査室 病理診断科 / 病理部  
岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学

### 2-2 遺伝子関連検査の Pitfall

赤羽 俊章

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 病理学分野  
鹿児島大学病院 ヒトゲノム遺伝子解析センター

### 2-3 がん遺伝子検査の病理検査工程におけるポイント

柳田 絵美衣

慶應義塾大学病院 臨床検査科 ゲノム検査室

### 2-4 ISO 15189 と遺伝子関連検査の精度保証

藤澤 真一

北海道大学病院 検査・輸血部

### ディスカッション

## 企業共催 Live セミナー

### 卵巣癌薬物治療 up to date ～今後のバイオバンクの役割に期待を込めて～

小林 佑介

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

共催：武田薬品工業（株）

12:40-14:30

セッション3 バイオバンク検体 / データ利活用に向けて 1  
標準化と臨床検査 / バイオバンクのクロストーク  
日本生物資源産業利用協議会 CIBER 協賛

座長 服部功太郎 (国立精神神経医療センター トランスレーショナルメディカルセンター)

3-1 バイオバンクの国際標準化  
～ バイオバンク認定に関わる国際標準開発の現状 ～

中江 裕樹

一般社団法人 日本生物資源産業利用協議会

3-2 がんゲノム医療における検査の標準化とバイオバンクとの  
クロストーク

西原 広史

慶應義塾大学医学部 臨床研究推進センター 生体試料研究支援部門

3-3 日本におけるバイオリポジトリ技術管理士認定試験制度

池田 純子

一般社団法人日本生物資源産業利用協議会

特定非営利活動法人バイオ計測技術コンソーシアム

3-4 バイオバンク利活用ハンドブックの作成と利用手続きの標準化

吉田 雅幸

東京医科歯科大学生命倫理研究センター

ディスカッション

14:40-16:00

セッション4 バイオバンク検体 / データ利活用に向けて 2  
本当に利用したくなるバイオバンクを目指して  
日本生物資源産業利用協議会 CIBER 協賛

座長 森田 瑞樹 (岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究科 / 医学部保健学科 検査技術科学専攻)

4-1 疾患バイオバンクとしてのバイオバンク・ジャパン：  
試料・情報の利活用促進に向けての取り組み

森崎 隆幸

東京大学医科学研究所バイオバンク・ジャパン

4-2 バイオバンク利活用の課題解決に向けたパイロット調査

森田 瑞樹

岡山大学

### 4-3 バイオバンクへの製薬産業からの期待

安達 秀樹

日本製薬工業協会研究開発委員会（中外製薬株式会社）

### ディスカッション

16:10-17:10

## セッション5 院内検査として行うがんゲノム検査の可能性

座長 西原 広史（慶應義塾大学医学部腫瘍センター）

### 5-1 院内検査として実施するがん遺伝子スクリーニング検査の試みと有用性

四十物 絵理子

慶応大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット

### 5-2 リンチ症候群診断に特化したマルチ遺伝子パネル検査

赤木 究

埼玉県立がんセンター がんゲノム医療センター（腫瘍診断・予防科）

### 5-3 カスタムがんパネル検査を用いた臨床研究：Laboratory developed test としての可能性

谷本 昭英

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 病理学  
鹿児島大学病院 がんゲノム遺伝子解析センター

### ディスカッション

17:20-18:40

## セッション6 全ゲノム解析時代の precision oncology と遺伝情報の取扱い

座長 豊岡 伸一（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器・乳腺内分泌外科）

平沢 晃（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学）

### 6-1 我が国の「全ゲノム解析等実行計画」におけるがん領域の取り組みの現状と展望

吉田 輝彦

国立がん研究センター中央病院

6-2 診療録における遺伝情報の管理に関する諸課題  
-ACMG の point to consider から -

丸 祐一  
鳥取大学

6-3 遺伝情報の取扱いと生命保険

横野 恵  
早稲田大学 社会科学部

6-4 がん領域の全ゲノム解析時代に求められる遺伝診療部門の役割

井本 逸勢  
愛知県がんセンター研究所

5月30日(日)

8:30 - 8:35

事務連絡

8:35 - 9:55

セッション7 RWDが作り出す次世代EBM：  
医療ビッグデータの活用

座長 武藤 学 (京都大学大学院 医学研究科)

泉田 欣彦 (埼玉医科大学総合医療センター 内分泌 / 糖尿病内科)

7-1 京都大学がんリアルワールドデータ (RWD) プロジェクトが  
描く Personal Health Record (PHR) の世界

松本 繁巳

京都大学大学院医学研究科リアルワールドデータ研究開発講座

7-2 Open Science 推進のための医療情報基盤について

泉田 欣彦

埼玉医科大学 総合医療センター 内分泌糖尿病内科  
日本医療研究開発機構 (AMED) 科学技術調査員

7-3 リアルワールドデータの活用で見えてきた新たな医療経済的な  
価値

田倉 智之

東京大学大学院医学系研究科医療経済政策学

10:05-10:55

特別講演

In Vitro Diagnostics and Precision Medicine:  
U.S. Experience

Peter Paul Yu MD FACP FASCO

Hartford HealthCare Cancer Institute

## セッション8 感染症検体の取り扱いについての国内外の動向

座長 松下 一之 (千葉大学医学部附属病院 検査部/遺伝子診療部/がんゲノムセンター)

## 8-1 バイオバンク分野における国内外の動向

古田 耕  
うらやす和楽苑診療所

## 8-2 国立がん研究センターバイオバンクにおける COVID-19 対応と感染症対策

谷田部 恭  
国立がん研究センター中央病院 病理診断科

## 8-3 ISO/TC212/WG4 の動向

石井 良和  
東邦大学医学部微生物・感染症学講座

## 8-4 アジア・太平洋地区のバイオバンクと COVID-19 感染下での動向

鶴山 竜昭  
興風会北野病院医学研究所  
京都大学医学部附属病院クリニカルバイオリソースセンター

## 8-5 病院併設型バイオバンク (千葉大学病院) における新型コロナウイルス検体保存とその利活用 (ワクチンセンターとの協働)

松下 一之  
千葉大学医学部附属病院 検査部/遺伝子診療部/がんゲノムセンター

## 企業共催オンデマンドセミナー

## 1. がんゲノム検査における PleSSision プラットフォームの有用性

西原 広史  
慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット

共催：三菱スペースソフトウェア (株)

## 2. The CellSeal Platform: Closed system cryopreservation and storage of high value biological specimens

Sean Werner  
Sexton Biotechnologies

共催：(株)池田理化

3. 高品質なシングルセルレベルのレーザーキャプチャーを実現  
—より確かな空間解析へ—

池田 理恵子  
フリューダ임株式会社

共催：フリューダ임（株）

4. 非レーザー式マイクロダイセクションシステムを用いた  
DNA 抽出は、がんゲノム医療の診断精度を向上させる

四十物 絵理子、高松 玲佳、中村 康平、西原 広史  
慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット

共催：（株）モルフォテクノロジー

5. 隣癌患者における生体試料を用いた ctDNA 遺伝子解析の取り組み  
～診療施設併設型バイオバンク利用の現状と実際～

吉田 龍一、安井 和也、宮本 耕吉、八木 孝仁、藤原 俊義  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学講座

共催：日本ベクトン・ディキンソン（株）

6. ニーズの「共創」～ユーザーに寄り添う新しいバイオバンクモデル

松岡 広<sup>1</sup>、辻本 研二<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 バイオリソース研究・開発推進学分野  
<sup>2</sup> 一般社団法人 BioResource Innovation Hub in Kobe

共催：BioResource Innovation Hub in Kobe

7. 多施設共同研究における検体管理；PAXgene Tissue System の有用性

中村 康平  
慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット

共催：（株）キアゲン

8. 全ゲノム解析の医療応用に向けたバーチャルパネルへの取り組み

高野 良治、窪川 美雪、山澤 悟、山口 昌雄  
アメリカエフ株式会社

共催：アメリカエフ株式会社

# バイオバンク・創薬などの研究に！

～ 試料管理者の機能満載、電子カルテ連携可能 ～

検体管理システム



**SATS**



匿名化番号作成システム

 **ancs**

コロナ検体管理システム

創薬研究支援サービス

バイアルバンク

<VialBank>

人間と技術の調和を考える

**NSK**®  
日本システム開発株式会社

【お問い合わせ】

電話: 03-6302-1371

メール: [ancs-info@nsk.co.jp](mailto:ancs-info@nsk.co.jp)

※上記QRコードのページ (<http://www.nsk.co.jp/dev/ancs/sats.html>) からカタログダウンロード(無料)できます。



IC Biomedicalは、2020年12月に、米国 International Cryogenics Incと米国 Worthington's Life Sciences Cryogenic Equipment Group (Taylor-Wharton Cryoscience) の2つの米国の老舗液体窒素容器のメーカーを買収して設立されました。



### LABSシリーズ 大型凍結保存容器



LABSシリーズ(大型凍結保存容器)は、断熱性に優れ、液体窒素蒸発損失が非常に少なくより多くの検体を効率的に液相及び気相で長期保存するために設計されています。2mLバイアルの検体を最大93000個まで凍結保存することができます。

#### <特徴>

- 口径小さく優れた断熱性能
  - 液相貯蔵及び気相貯蔵が可能
  - ターンテーブル内蔵により凍結試料を取り出し易い
  - 便利なフラットテーブル付
  - アクセスし易いステップ付
  - 液体窒素の自動供給により保存期間を長期継続できる
- \* 別途、自動加圧式液体窒素容器が必要



オーストリア Sy-Lab 社のIceCube シリーズ コントロールレートフリーザーは、液体窒素を使用して試料を凍結する際 コンピュータにより試料の特性に応じた任意の冷却速度を自動制御できるプログラムフリーザーです。オートシーディングオプションにより、失敗することなく簡単に試料凍結できます。また、試料に応じた冷却カーブは、多数記憶しておくことができますので、試料に応じた最適の冷却速度を再現できます。



日本代理店  
**仁木工芸株式会社**

URL <http://www.nikiglass.co.jp>

東京支社 〒140-0011 東京都品川区東大井5-26-22  
大阪営業所 〒592-0002 大阪市高石市羽衣5-16-8

TEL : 03-4218-4700 FAX : 03-4212-3423

TEL : 072-242-7611 FAX : 072-242-7622

# TruSight™ Oncology 500 製品ファミリー

血漿と FFPE サンプルの両方から包括的ゲノムプロファイリングを可能にする

- TruSight Oncology 500 (Tissue)
- TruSight Oncology 500 High-Throughput (Tissue)
- TruSight Oncology 500 ctDNA (Liquid biopsy)



研究モードでの  
解析



## NextSeq™ 550Dx\* システム

\* NextSeq 550Dx システムは医療機器です。  
診断 (Dx) モードの使用目的は体外診断用に限定されます。



## NovaSeq™ 6000 システム

詳細はこちらから

<https://ilmmkt.illumina.com/2016006515>



本製品の使用目的は研究に限定されます。診断での使用はできません。

## イルミナ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝 5-36-7 三田ベルジュビル 22 階

TEL. 03-4578-2800 FAX. 03-4578-2810

©2021 Illumina, Inc. All right reserved.

[jp.illumina.com](http://jp.illumina.com)

M-JP-00006

illumina®

# 検体管理で お困りの点は ございますか？

検体管理のソリューションを  
提供します



## Hamilton BiOS®

-80°C  
自動サンプルストレージ



## Verso®

室温～-20°C  
自動サンプルストレージ



## SAM HD

-80°C  
小型自動サンプルストレージ



## Verso Q20

20～-20°C  
小型自動サンプルストレージ



## LabElite® ID Capper

スクリーキャップチューブの  
自動キャッパー/デキャッパー装置



## LabElite® DeFroster

小型・軽量自動除霜デバイス



## Tubes

0.3 mL～2.0 mL  
自動化に適したサンプルチューブ

**HAMILTON**  
STORAGE

www.hamiltoncompany.com  
03-6435-6850  
sales@hamilton-storage.com

©2020 Hamilton Storage. All rights reserved.  
Trademarks are owned and/or registered by Hamilton Storage  
and/or Hamilton Company in the U.S. and/or other countries.

## What science can do

血液中を循環する  
がんDNAの微小断片

### 血中循環腫瘍DNA

アストラゼネカは、循環血中の腫瘍DNA(ctDNA)をがん診断に利用する方法をいち早く開発しました。腫瘍から遊離し血中を循環するDNAの断片を解析することによって、患者さんの腫瘍に関する遺伝子情報が解析されます。アストラゼネカは、このように患者さんの身体に痛みや苦痛を与えることなく、医療従事者が正しい治療法を選択できるよう取り組んでいます。

# Roche Diagnostics Oncology Portfolio

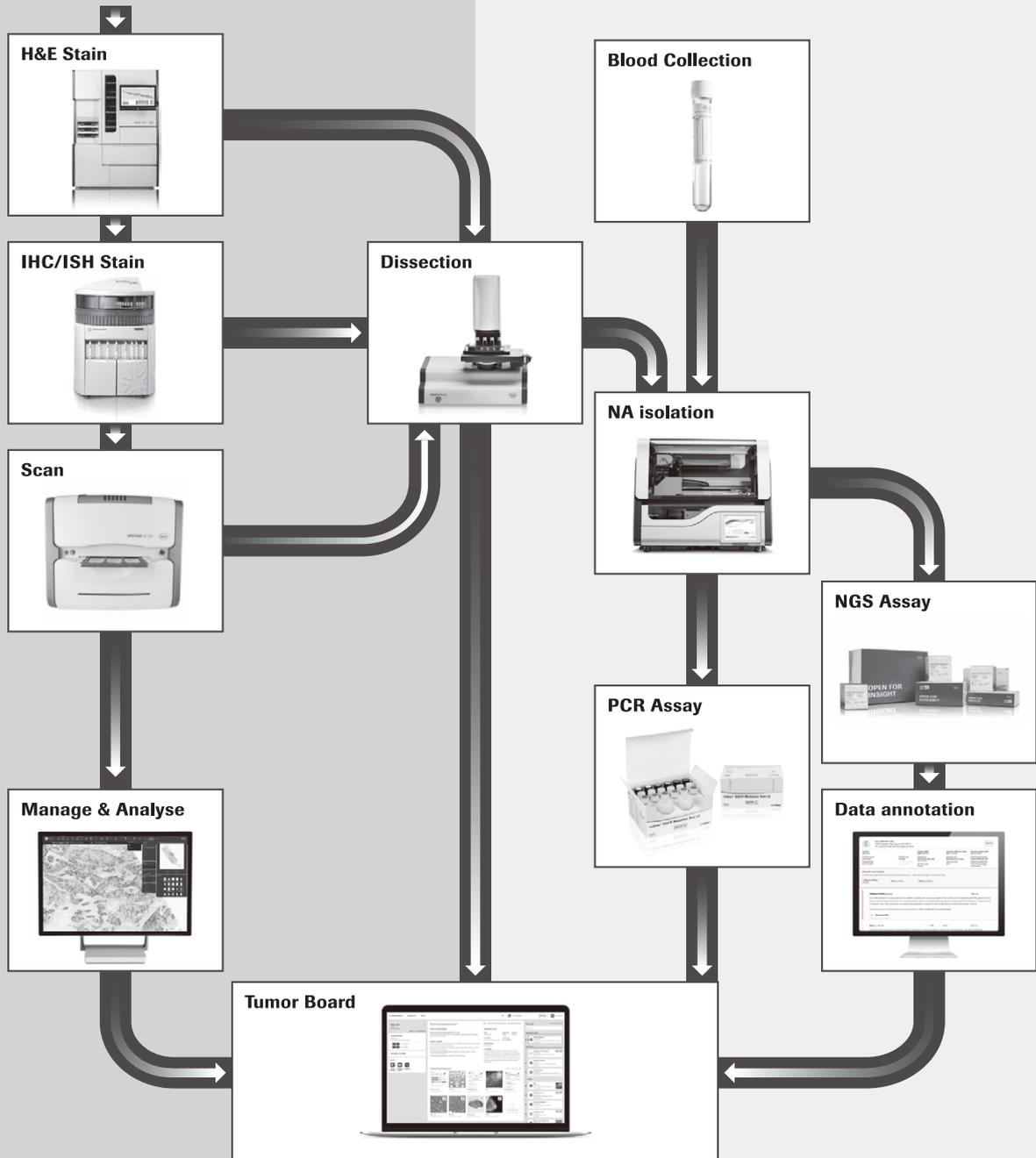
*Laboratory solutions from sample to result*



## Pathology Workflow



## Molecular Workflow



ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70  
カスタマーソリューションセンター ☎0120-600-152 <http://www.roche-diagnostics.jp>

# ワークフローを自動化 NGS の新しい世界



検体からレポートまでのワークフローを  
自動化、1日で結果を提供。新型コロナウイルス変異解析にも、  
がん研究にも、Ion Torrent™ Genexus™ システム

## 特長

- これまでにない、検体からレポートまでの自動化と使いやすさ—10分のハンズオンタイムと2回のユーザー操作
- わずか1日のターンアラウンドタイム—サンプルからレポートまでが完了します
- 個々のサンプルをコスト効率よく解析できる—まとめて解析する必要性が減り、結果を迅速に得ることができます

デモ依頼・資料請求はこちらまで是非お問い合わせください [thermofisher.com/genexus](https://thermofisher.com/genexus)

研究用のみ使用できます。診断用には使用いただけません。

© 2021 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.

All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.

ION186-B21030B

サーモフィッシャーサイエンティフィック  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社

TEL : 03-6832-9300 FAX : 03-6832-9580

[thermofisher.com](https://thermofisher.com)

**ThermoFisher**  
SCIENTIFIC

thermoscientific

Sample integrity  
You can bank on

## サンプル管理のソリューション

Thermo Scientific™ Matrix™ / Nunc™  
2Dコード付チューブ

超低温保存によるダメージからサンプルを守りつつ、  
確実なサンプルトラッキングを実現。  
サンプルの品質維持、管理作業の精度向上と効率化を  
サポートします。

Find out more at [thermofisher.com/jp-2d-tube](https://thermofisher.com/jp-2d-tube)

研究用のみ使用できます。診断用には使用いただけません。  
これらの製品は一般的なラボでの使用を目的としています。  
製品の性能がお客様の用途やアプリケーションに適しているかどうかはお客様自身でご確認ください。  
© 2021 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.  
All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.  
LSP036-A2103ML

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

テクニカルサポート ☎ 0120-477-392 ✉ [jptech@thermofisher.com](mailto:jptech@thermofisher.com)

オーダーサポート TEL: 03-6832-9260 FAX: 03-6832-9261

[thermofisher.com](https://thermofisher.com)



**Thermo Fisher**  
SCIENTIFIC

何日でも  
何度入院しても。  
ガンの  
入院治療は  
自己負担金が  
実質  
かかりません。

**ガン入院保険金**

日数制限なしで  
入院治療費を  
**全額補償**

ゼロ  
**円**

ずっと笑顔でいたいから。

》さらに2つの安心。

**ガン外来保険金**

日数制限なしで  
通院治療費を  
5年ごとに **1,000万円**  
まで補償

**ガン診断保険金**

ガン診断が確定した場合は一時金として  
**100万円**を補償  
診断確定日から  
3年経過後であれば  
何度でも補償します。

！  
ご注意

①次の範囲はお支払いの対象外となります。 **ガン入院保険金**： ●差額ベッド代 ●貸テレビ代・新聞代・特別メニューの食事代等、直接治療に関係しない諸雑費 **ガン外来保険金**： ●往診による治療 ●交通費・宿泊費等、直接治療に関係しない諸雑費 **ガン入院保険金・ガン外来保険金共通**： ●がんの診断確定を主な目的とした、検査のための入院・通院 ●がんの再発・転移の診断を主な目的とした診察または検査のための入院・通院 ●がんの手術により失われた形態または機能を改善する形成再建手術等（乳がんの手術と別の時期に行う乳房再建手術等）を行うことを主な目的とした、自由診療による入院・通院 ●がんの診療を直接の目的とした入院・通院が終了した後の経過観察  
②自由診療としての補償は、入院・通院する医療機関が、セコム損害保険の協定病院、がん診療連携拠点病院、大学附属病院等であること、および医師による入院・通院診療計画に健康保険等（公的医療保険）の給付対象とならないがんの診療が含まれていることが条件となります。

●記載の内容は、2021年3月時点における商品概要を示したものです。 ●「自由診療保険メディコム」は新ガン治療費用保険のペットネームです。 ●「MEDCOM」及び「メディコム」は「自由診療保険」に関するセコム損害保険株式会社の商標です。  
●ご契約の際は必ず「パンフレット」「重要事項説明書」「ご契約のしおり」等をご覧ください。

信頼される安心を、社会へ。

**SECOM** セコム損害保険株式会社

〒102-8645 東京都千代田区平河町2丁目6番2号 セコム損保ビル

<https://www.secom-sonpo.co.jp/>

メディコム  
ホームページ



**第6回  
臨床バイオバンク学会  
シンポジウム**